

金沢マラソン大学連携成果発表会 2025.3.22

金沢マラソンに参加する 障害ランナーの特徴とニーズ

北陸学院大学 社会学科 田引ゼミ

調査の目的、内容(報告概要)

目的:金沢マラソン2024 障害ランナーの特徴、ニーズ把握

調査票は以下の内容で構成

(2024年大会を中心に、一部2023, 2022, 2021, 2019年大会の結果もあわせて示す)

- **障害ランナーの特徴(個人属性)**
- **障害対応、大会運営に関する評価と要望**
- **自由記述コメント**

調査方法

**調査票はフィニッシュ会場で(多目的スペース利用時)、
趣旨説明のうえ直接配布**

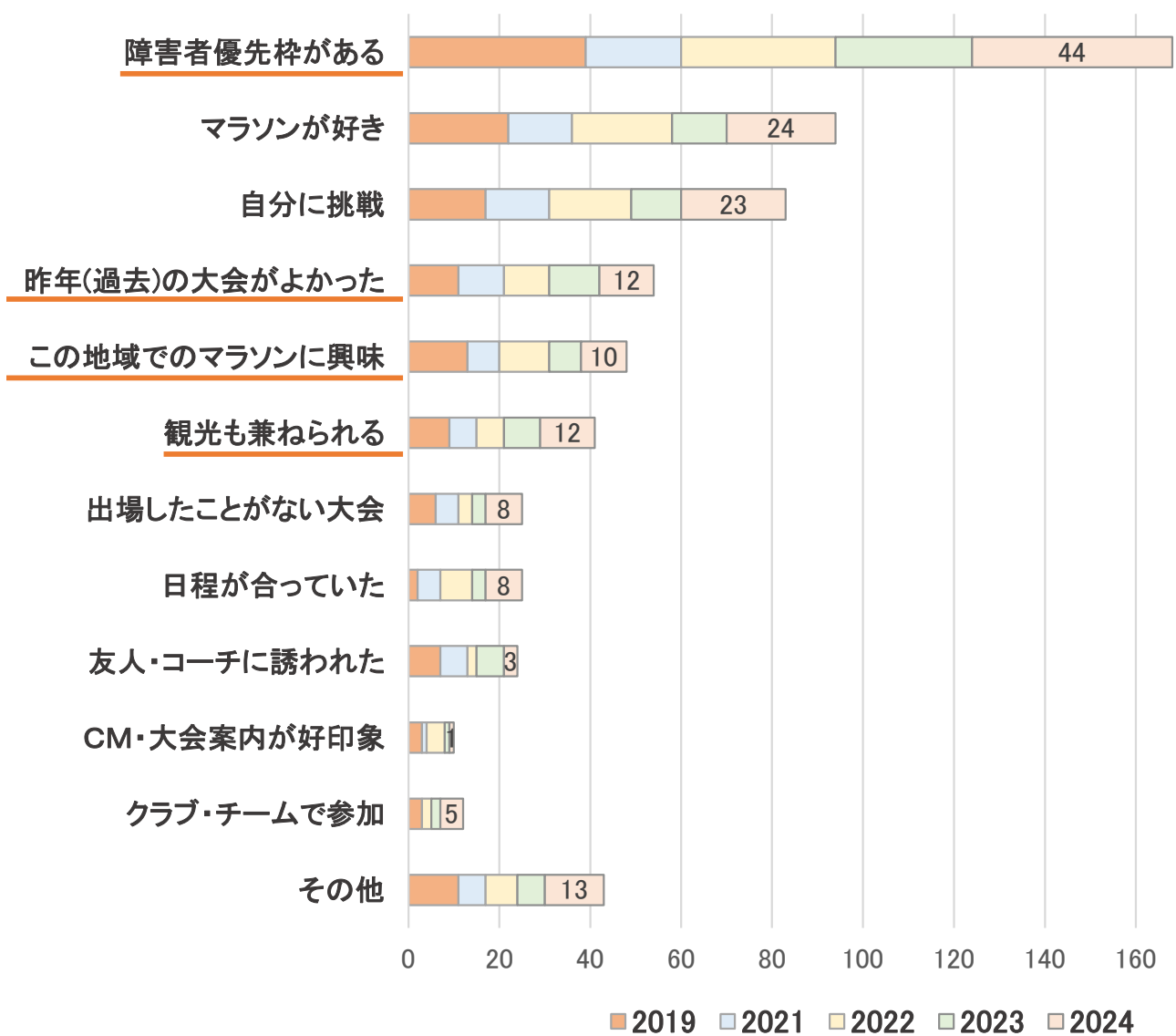
**回答・記入はレース後として
郵送で回収**

**配布対象(申込者)114人
実際の配布数は97(一部伴走者含む)
回収60(回収率61.9%)**



無記名回答で、結果は研究目的および次年度以降の大会運営の改善に使用すること、統計的に処理され個人が特定されない旨調査票上に記した

結果1：障害ランナーの参加理由と参加歴



過去の参加歴(複数回答)	初参加の割合
2024年大会	— 37% (22人)
2023年大会	23人 28%
2022年大会	21 24%
2021年大会	18
2019年大会	16
2018年大会	15
2017年大会	11
2016年大会	12
2015年大会	12

「障害者優先枠」が最も多い
 「過去の大会がよかった」
 (回答者の6割以上がリピーター)
 「初参加」の割合が増加傾向



- ・優先枠の存在意義は大きい
- ・「一般枠」とを本人が選択できる形が個々のニーズを受けとめ
- ・サポートとニーズ調査の継続

結果2:回答者の障害種別等

	2024	2023	2022	2021	2019	合計
障害種別						
肢体不自由	5	3	4	4	8	24
視覚	5	5	6	6	3	25
言語聴覚	20	10	16	8	15	69
内部	5	7	4	2	6	24
精神	4	5	2	2	5	18
知的	6	4	3	4	11	28
伴走者等	6	2	1	3	1	13
居住地						
県内	19	10	13	6	22	70
県外	36	28	26	23	29	142
出走数	114 (申込数)	83	88	67	105	

- 障害は多様
- 県外者が多い

↓

- **多様な人が参加できる金沢マラソン**
- サポートとニーズ調査の継続、蓄積

- 一方、全体1万5千人に対して100名(0.7%)前後

→もう少し増えてもいい

未記入・未回答部分があるため合計が異なる

結果3: 障害ランナー拡大に向けた提案 (障害ランナー回答)

- ・ 障害者優先枠があることがわかりにくい、自分も2021年まで知らなかった
- ・ 取り組み(専用の受付、ゴール後の多目的スペース)をもっと募集の段階でアピールしていいと思う、参加前はここまで配慮してくれるとは思わなかった
- ・ サポートや応援がすごい! 全国の障害の仲間に勧めている
- ・ 各障害の協会、施設、学校へのPR
- ・ 障害対応可能な宿泊施設の紹介、斡旋
- ・ もっとPRを、ホームページや広報誌に載せてほしい
- ・ レース前後の交流イベントの開催
- ・ スマホ・ネットエントリーは音声案内、操作に時間がかかるので電話でも申し込みできるようにしてほしい(視覚障害)
- ・ 県外の障害ランナーは参加費や宿泊費の半額補助(該当者は抽選でもいいので)
- ・ 障害ランナーの部の創設、表彰

結果4: 障害ランナー対応に関する意識(2024年大会、5段階評価)

	全体	肢体 不自由	視覚	言語 聴覚	内部	精神	知的
障害別にゼッケンを色分けした方がいい	2.48	2.00	4.20	2.25	2.20	1.75	3.33
障害ランナーの表彰区分の設定を希望する	2.88	2.20	3.60	2.63	3.80	1.75	3.33
障害ランナー用の給水・給食テーブルがあった方がいい	2.85	2.60	3.80	2.25	3.00	2.25	2.50

障害ごとに意識(ニーズ)が異なる



- ・1万5千人が走る全体の安全・運営管理も必要
- ・今後、(人数が増えてくれば)可能な範囲で対応、サポートを検討

結果5: 障害ランナー対応に対する評価

全体の運営に関する評価コメント

- 前日の障害ランナー受付はわかりやすくよかった
- スタート時のセレモニーに手話通訳者を配置してほしい(聴覚障害)
- 給水・給食ステーションは障害に配慮してほしい(接触を防ぐための優先テーブルを置くなど)

多目的スペースに対する評価コメント

- 障害のため着がえに時間がかかりスペースも必要なので、ゴール後の多目的スペースは本当にありがたい、継続していただきたい
- ゴール後の着がえスペースが大変ありがたい、障害部分の痛みがひどかったので助かった
- 金沢マラソンほど障害者に配慮した大会はない、今後も続けていただきたい
- 着がえスペースなど他の大会にはない取り組み、選ばれる大会の一つだと確信している
- いろいろな大会に参加してきたが障害者に対する配慮が一番手厚かった、今回のような取り組みがあるならまた参加したい



- 障害ランナーのニーズは潜在化しがち(あきらめも含め)
- しかし、「スポーツ参加」に必要
- 継続的なサポート・調査、蓄積

金沢マラソン2024 障害ランナー調査 全体まとめ

- 障害は多様で、参加理由では「障害者優先枠がある」が最多
 - 着がえ等に使う多目的スペースを含め、概して前向きな評価
- 障害ランナーを含め、様々な事情がある人たちに配慮した運営・対応は、誰もが参加できる金沢マラソンの特徴の一つ

今後は、

- 参加拡大に向け、優先枠と多目的スペースの周知
- 可能な範囲でサポートとニーズ調査などを継続、蓄積
- 「共生社会」、「スポーツを通じた共生」につながる、地域の代表的なスポーツイベントへ

ありがとうございました。